

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第5505285号  
(P5505285)

(45) 発行日 平成26年5月28日 (2014. 5. 28)

(24) 登録日 平成26年3月28日 (2014. 3. 28)

(51) Int. Cl.

F I

H O 4 N 1/00 (2006. 01)

H O 4 N 1/00 1 O 7 Z

B 4 1 J 29/38 (2006. 01)

H O 4 N 1/00 C

G O 6 F 3/12 (2006. 01)

B 4 1 J 29/38 Z

G O 6 F 3/12 C

請求項の数 14 (全 24 頁)

(21) 出願番号 特願2010-270626 (P2010-270626)  
 (22) 出願日 平成22年12月3日 (2010. 12. 3)  
 (65) 公開番号 特開2012-120114 (P2012-120114A)  
 (43) 公開日 平成24年6月21日 (2012. 6. 21)  
 審査請求日 平成23年12月22日 (2011. 12. 22)

(73) 特許権者 390002761  
 キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
 東京都港区港南2丁目16番6号  
 (73) 特許権者 301015956  
 キヤノンソフトウェア株式会社  
 東京都品川区東品川二丁目4番11号  
 (74) 代理人 100188938  
 弁理士 榛葉 加奈子  
 (72) 発明者 浅本 雅弘  
 東京都港区三田3丁目9番6号 キヤノン  
 ソフトウェア株式会社内  
 (72) 発明者 橋本 浩  
 東京都港区三田3丁目9番6号 キヤノン  
 ソフトウェア株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 画像処理システム、画像処理方法、画像処理装置及びコンピュータプログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サーバ装置と、画像読取機構を備える画像処理装置と、を備える画像処理システムであ  
 て、

前記サーバ装置は、

前記画像処理装置による原稿の読み取り処理によって画像ファイルを作成するための情  
 報である第1の設定情報と、前記画像処理装置により作成される前記画像ファイルに対す  
 る処理及びその処理主体が画像処理装置又はサーバ装置として定義された第2の設定情報  
 であって、前記処理主体が異なる複数の第2の設定情報と、を定義したスキャンチケット  
 データと、当該スキャンチケットデータの識別情報とを記憶する記憶手段と、

画像処理装置からのスキャンチケットデータの要求に応じて、前記記憶手段に記憶され  
 ているスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットの識別情報を前記画像処理装置  
 に送信するスキャンチケット送信手段と、

前記画像処理装置より、前記画像ファイル及びスキャンチケットデータの識別情報を受  
 信する画像ファイル受信手段と、

前記画像ファイル受信手段で受信した画像ファイルを用いて、前記画像ファイル受信手  
 段で受信した前記スキャンチケットデータの識別情報の示す前記スキャンチケットデータ  
 に含まれる第2の設定情報に定義された処理を実行する第1の実行手段と、

を備え、

前記画像処理装置は、

10

20

前記サーバ装置に対して、スキャンチケットデータを要求する要求手段と、

前記要求手段によるスキャンチケットデータの要求に応じて前記スキャンチケット送信手段により送信されるスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットの識別情報を受信するスキャンチケット受信手段と、

前記スキャンチケット受信手段で受信したスキャンチケットデータに含まれる第 1 の設定情報に従って前記画像読取機構を用いて原稿を読み取ることで、画像ファイルを作成する画像ファイル作成手段と、

前記スキャンチケットデータに含まれる前記第 2 の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成手段で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が、前記画像処理装置か、前記サーバ装置かを判定する判定手段と、

前記判定手段で、前記スキャンチケットデータに含まれる第 2 の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成手段で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が画像処理装置であると判定した処理を、当該画像処理装置において実行する第 2 の実行手段と、

前記複数の第 2 の設定情報のうち、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が、前記第 2 の実行手段で実行されたか否かを判定する実行判定手段と、

前記実行判定手段で、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が実行されたと判定した場合に、前記判定手段で、前記処理主体が前記サーバ装置であると判定した処理を前記サーバ装置に実行させるべく、前記画像処理装置で実行する全ての処理がされた前記画像ファイル及びスキャンチケットの識別情報を、前記サーバ装置に送信する画像ファイル送信手段と、

を備えることを特徴とする画像処理システム。

#### 【請求項 2】

前記第 2 の設定情報は、ユーザの操作によって指定される解像度を含む情報であって、前記第 1 の設定情報に含まれる解像度の情報は、前記第 2 の設定情報におけるユーザから指定された解像度の情報に基づいて決定され、

前記画像ファイル作成手段は、前記第 2 の設定情報におけるユーザから指定された解像度の情報に基づいて決定された前記第 1 の設定情報の解像度の情報を用いて、前記画像ファイルを作成することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理システム。

#### 【請求項 3】

前記サーバはクライアント装置と通信可能に接続され、

前記クライアント装置は、

前記第 2 の設定情報に、いずれの処理を定義するかを決定する決定指示を受け付ける決定指示受付手段と、

前記決定指示受付手段で指示を受け付けた処理を実行可能な処理主体を、前記第 2 の設定情報における処理主体として選択可能に表示し、前記決定指示受付手段で指示を受け付けた処理を実行不可能な処理主体を選択不可能に表示する処理主体選択表示手段と、

前記前記処理主体選択表示手段で表示された、前記決定指示受付手段で指示を受け付けた処理を実行可能な処理主体の選択を受け付ける処理主体選択受付手段と、

前記サーバに前記スキャンチケットを作成させるべく、前記処理主体選択受付手段で選択を受け付けた処理主体の情報を、前記サーバに送信する処理主体情報送信手段と、

を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像処理システム。

#### 【請求項 4】

前記記憶手段に記憶されているスキャンチケットデータには、当該スキャンチケットデータを利用可能なユーザに関する情報が含まれ、

前記画像処理装置は、

当該画像処理装置を使用するユーザを特定するための特定手段を更に備え、

前記要求手段は、前記特定手段により特定されたユーザが利用可能なスキャンチケットデータを前記サーバ装置に要求すること

を特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像処理システム。

10

20

30

40

50

## 【請求項 5】

前記サーバ装置は、

クライアント装置から前記スキャンチケットデータの作成要求を受け付ける第 1 の受付手段と、

前記第 1 の受付手段で受け付けた作成要求に従って、前記スキャンチケットデータを作成する第 2 の作成手段を備え、

前記記憶手段は、前記第 2 の作成手段で作成されたスキャンチケットデータを記憶すること

を特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理システム。

## 【請求項 6】

前記画像処理装置は、

前記スキャンチケット受信手段で受信したスキャンチケットデータを表示部に一覧表示する表示制御手段と、

前記表示制御手段により表示部に一覧表示されるスキャンチケットデータから、前記画像ファイル作成手段による画像ファイルの作成に使用するスキャンチケットデータの指定を受け付ける第 2 の受付手段と、

を更に備え、

前記画像ファイル作成手段は、前記第 2 の受付手段で指定を受け付けたスキャンチケットデータに定義された第 1 の設定情報に従って前記読取機構を用いて原稿を読み取ること

で、画像ファイルを作成し、  
前記第 2 の実行手段は、前記第 2 の受付手段で指定を受け付けたスキャンチケットデータの第 2 の設定情報に定義された前記処理であって、前記判定手段により、画像処理装置で実行する処理と判定される処理を実行する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の画像処理システム。

## 【請求項 7】

前記第 2 の設定情報に定義される処理は、前記画像ファイル作成手段で作成された画像ファイルの送信先への送信処理であることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の画像処理システム。

## 【請求項 8】

サーバ装置と通信可能に接続された、画像読取機構を備える画像処理装置であって、

当該画像処理装置による原稿の読み取り処理によって画像ファイルを作成するための情報である第 1 の設定情報と、前記画像処理装置により作成される前記画像ファイルに対する処理及びその処理主体が画像処理装置又はサーバ装置として定義された第 2 の設定情報であって、前記処理主体が異なる複数の第 2 の設定情報と、を定義したスキャンチケットデータを取得する取得手段と、

前記取得手段で取得したスキャンチケットデータに含まれる第 1 の設定情報に従って前記画像読取機構を用いて原稿を読み取ること、画像ファイルを作成する画像ファイル作成手段と、

前記スキャンチケットデータに含まれる前記第 2 の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成手段で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が、前記画像処理装置か、前記サーバ装置かを判定する判定手段と、

前記判定手段で、前記スキャンチケットデータに含まれる第 2 の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成手段で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が画像処理装置であると判定した処理を、当該画像処理装置において実行する実行手段と、

前記複数の第 2 の設定情報のうち、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が、前記実行手段で実行されたか否かを判定する実行判定手段と、

前記実行判定手段で、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が実行されたと判定した場合に、前記判定手段で、前記処理主体が前記サーバ装置であると判定した処理を前記サーバ装置に実行させるように、前記画像処理装置で実行する全ての処理がされた前記画像ファイルを、前記サーバ装置に送信する画像ファイル送信手段と、

10

20

30

40

50

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 9】

前記第 2 の設定情報は、ユーザの操作によって指定される解像度を含む情報であって、前記第 1 の設定情報に含まれる解像度の情報は、前記第 2 の設定情報におけるユーザから指定された解像度の情報に基づいて決定され、

前記画像ファイル作成手段は、前記第 2 の設定情報におけるユーザから指定された解像度の情報に基づいて決定された前記第 1 の設定情報の解像度の情報を用いて、前記画像ファイルを作成することを特徴とする請求項 8 に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

前記取得手段で取得したスキャンチケットデータを表示部に一覧表示する表示制御手段と、

前記表示制御手段により表示部に一覧表示されるスキャンチケットデータから、前記画像ファイル作成手段による画像ファイルの作成に使用するスキャンチケットデータの指定を受け付ける受付手段と、

を更に備え、

前記画像ファイル作成手段は、前記受付手段で指定を受け付けたスキャンチケットデータに含まれる第 1 の設定情報に従って前記読取機構を用いて原稿を読み取ることで、画像ファイルを作成することを特徴とする請求項 8 または 9 に記載の画像処理装置。

【請求項 11】

サーバ装置と、画像読取機構を備える画像処理装置と、を備える画像処理システムによって行われる画像処理方法であって、

前記サーバ装置の記憶手段が、前記画像処理装置による原稿の読み取り処理によって画像ファイルを作成するための情報である第 1 の設定情報と、前記画像処理装置により作成される前記画像ファイルに対する処理及びその処理主体が画像処理装置又はサーバ装置として定義された第 2 の設定情報であって、前記処理主体が異なる複数の第 2 の設定情報と、を定義したスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットデータの識別情報とを記憶する記憶工程と、

前記サーバ装置のスキャンチケット送信手段が、画像処理装置からのスキャンチケットデータの要求に応じて、前記記憶工程に記憶されているスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットの識別情報を前記画像処理装置に送信するスキャンチケット送信工程と

、  
前記サーバ装置の画像ファイル受信手段が、前記画像処理装置より、前記画像ファイル及びスキャンチケットデータの識別情報を受信する画像ファイル受信工程と、

前記サーバ装置の第 1 の実行手段が、前記画像ファイル受信工程で受信した画像ファイルを用いて、前記画像ファイル受信工程で受信した前記スキャンチケットデータの識別情報の示す前記スキャンチケットデータに含まれる第 2 の設定情報に定義された処理を実行する第 1 の実行工程と、

前記画像処理装置の要求手段が、前記サーバ装置に対して、スキャンチケットデータを要求する要求工程と、

前記画像処理装置のスキャンチケット受信手段が、前記要求工程によるスキャンチケットデータの要求に応じて前記スキャンチケット送信工程により送信されるスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットの識別情報を受信するスキャンチケット受信工程と、

前記画像処理装置の画像ファイル作成手段が、前記スキャンチケット受信工程で受信したスキャンチケットデータに含まれる第 1 の設定情報に従って前記画像読取機構を用いて原稿を読み取ることで、画像ファイルを作成する画像ファイル作成工程と、

前記画像処理装置の判定手段が、前記スキャンチケットデータに含まれる前記第 2 の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成工程で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が、前記画像処理装置か、前記サーバ装置かを判定する判定工程と、

前記画像処理装置の第 2 の実行手段が、前記判定工程で、前記スキャンチケットデータに含まれる第 2 の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成工程で作成した前記画像

10

20

30

40

50

ファイルに対する処理の処理主体が画像処理装置であると判定した処理を、当該画像処理装置において実行する第2の実行工程と、

前記画像処理装置の実行判定手段が、前記複数の第2の設定情報のうち、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が、前記第2の実行工程で実行されたか否かを判定する実行判定工程と、

前記画像処理装置の画像ファイル送信手段が、前記実行判定工程で、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が実行されたと判定した場合に、前記判定工程で、前記処理主体が前記サーバ装置であると判定した処理を前記サーバ装置に実行させるべく、前記画像処理装置で実行する全ての処理がされた前記画像ファイル及びスキャンチケットの識別情報を、前記サーバ装置に送信する画像ファイル送信工程と、

10

を含むことを特徴とする画像処理方法。

【請求項12】

サーバ装置と通信可能に接続された、画像読取機構を備える画像処理装置によって行われる画像処理方法であって、

取得手段が、当該画像処理装置による原稿の読み取り処理によって画像ファイルを作成するための情報である第1の設定情報と、前記画像処理装置により作成される前記画像ファイルに対する処理及びその処理主体が画像処理装置又はサーバ装置として定義された第2の設定情報であって、前記処理主体が異なる複数の第2の設定情報と、を定義したスキャンチケットデータを取得する取得工程と、

画像ファイル作成手段が、前記取得工程で取得したスキャンチケットデータに含まれる第1の設定情報に従って前記画像読取機構を用いて原稿を読み取ることで、画像ファイルを作成する画像ファイル作成工程と、

20

判定手段が、前記スキャンチケットデータに含まれる前記第2の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成工程で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が、前記画像処理装置か、前記サーバ装置かを判定する判定工程と、

実行手段が、前記判定工程で、前記スキャンチケットデータに含まれる第2の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成工程で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が画像処理装置であると判定した処理を、当該画像処理装置において実行する実行工程と、

実行判定手段が、前記複数の第2の設定情報のうち、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が、前記実行工程で実行されたか否かを判定する実行判定工程と、

30

画像ファイル送信手段が、前記実行判定工程で、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が実行されたと判定した場合に、前記判定工程で、前記処理主体が前記サーバ装置であると判定した処理を前記サーバ装置に実行させるように、前記画像処理装置で実行する全ての処理がされた前記画像ファイルを、前記サーバ装置に送信する画像ファイル送信工程と、

を含むことを特徴とする画像処理方法。

【請求項13】

サーバ装置と、画像読取機構を備える画像処理装置と、を備える画像処理システムで実行可能なコンピュータプログラムであって、

40

前記サーバ装置を、

前記画像処理装置による原稿の読み取り処理によって画像ファイルを作成するための情報である第1の設定情報と、前記画像処理装置により作成される前記画像ファイルに対する処理及びその処理主体が画像処理装置又はサーバ装置として定義された第2の設定情報であって、前記処理主体が異なる複数の第2の設定情報と、を定義したスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットデータの識別情報とを記憶する記憶手段と、

画像処理装置からのスキャンチケットデータの要求に応じて、前記記憶手段に記憶されているスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットの識別情報を前記画像処理装置に送信するスキャンチケット送信手段と、

前記画像処理装置より、前記画像ファイル及びスキャンチケットデータの識別情報を受

50

信する画像ファイル受信手段と、

前記画像ファイル受信手段で受信した画像ファイルを用いて、前記画像ファイル受信手段で受信した前記スキャンチケットデータの識別情報の示す前記スキャンチケットデータに含まれる第2の設定情報に定義された処理を実行する第1の実行手段と、

として機能させ、

前記画像処理装置を、

前記サーバ装置に対して、スキャンチケットデータを要求する要求手段と、

前記要求手段によるスキャンチケットデータの要求に応じて前記スキャンチケット送信手段により送信されるスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットの識別情報を受信するスキャンチケット受信手段と、

前記スキャンチケット受信手段で受信したスキャンチケットデータに含まれる第1の設定情報に従って前記画像読取機構を用いて原稿を読み取ることで、画像ファイルを作成する画像ファイル作成手段と、

前記スキャンチケットデータに含まれる前記第2の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成手段で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が、前記画像処理装置か、前記サーバ装置かを判定する判定手段と、

前記判定手段で、前記スキャンチケットデータに含まれる第2の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成手段で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が画像処理装置であると判定した処理を、当該画像処理装置において実行する第2の実行手段と

、  
前記複数の第2の設定情報のうち、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が、前記第2の実行手段で実行されたか否かを判定する実行判定手段と、

前記実行判定手段で、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が実行されたと判定した場合に、前記判定手段で、前記処理主体が前記サーバ装置であると判定した処理を前記サーバ装置に実行させるべく、前記画像処理装置で実行する全ての処理がされた前記画像ファイル及びスキャンチケットの識別情報を、前記サーバ装置に送信する画像ファイル送信手段

として機能させることを特徴とするコンピュータプログラム。

#### 【請求項14】

サーバ装置と通信可能に接続された、画像読取機構を備える画像処理装置を、

当該画像処理装置による原稿の読み取り処理によって画像ファイルを作成するための情報である第1の設定情報と、前記画像処理装置により作成される前記画像ファイルに対する処理及びその処理主体が画像処理装置又はサーバ装置として定義された第2の設定情報であって、前記処理主体が異なる複数の第2の設定情報と、を定義したスキャンチケットデータを取得する取得手段と、

前記取得手段で取得したスキャンチケットデータに含まれる第1の設定情報に従って前記画像読取機構を用いて原稿を読み取ることで、画像ファイルを作成する画像ファイル作成手段と、

前記スキャンチケットデータに含まれる前記第2の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成手段で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が、前記画像処理装置か、前記サーバ装置かを判定する判定手段と、

前記判定手段で、前記スキャンチケットデータに含まれる第2の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成手段で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が画像処理装置であると判定した処理を、当該画像処理装置において実行する実行手段と、

前記複数の第2の設定情報のうち、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が、前記実行手段で実行されたか否かを判定する実行判定手段と、

前記実行判定手段で、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が実行されたと判定した場合に、前記判定手段で、前記処理主体が前記サーバ装置であると判定した処理を前記サーバ装置に実行させるように、前記画像処理装置で実行する全ての処理がされた前記画像ファイルを、前記サーバ装置に送信する画像ファイル送信手段

10

20

30

40

50

として機能させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、画像処理装置での画像処理技術に関し、特に複数の関連する処理を、一連の処理として設定可能な画像処理技術に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、複合機等の画像処理装置は、スキャナ等の原稿の読取機構を備え、当該読取機構を用いて読み取った画像データの印刷処理やFAX送信処理を行ったり、画像データから指定の形式のファイルを生成し、予め指定されたコンピュータ上のフォルダに送信したりすることが可能である。

【0003】

しかし、1つの原稿に関して上記した処理のうち複数の処理を実行する場合には、それぞれの処理を行う度に原稿の読み取り処理を行わなくてはならず、非効率であった。そこで、特許文献1に記載の発明では、一度の原稿読み取り処理の後、USBメモリ等に記憶された複数の処理を画像処理装置に実行させることについて開示されている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特開2008-22107号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかし、特許文献1に開示されている発明では、一連の処理を全て画像処理装置で行うことになる。しかし、これでは画像処理装置の処理負荷が増してしまう。たとえば、特定の処理を画像処理装置で行い、その他の処理をサーバ装置で行うような構成を採用したほうが、負荷分散の観点からは好ましい。

【0006】

さらに、一連の画像処理のうち、一部、または全部の画像処理をサーバ装置で行うようにすることで、画像処理装置が有していない画像処理を一連の画像処理に含ませることが可能になる。

【0007】

本発明は、スキャンチケットデータを用いた一度の読み取り指示で、何れの装置で当該スキャンチケットに定義された処理を実行させるかを決定し、各装置に実行させると共に、画像処理装置で行う処理を全て実行した場合に、前記画像処理装置で実行する全ての処理がされたファイルをサーバ装置に送信し、サーバ装置にサーバ装置を処理主体とする他の処理を実行させることが可能な仕組みを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0008】

本発明の画像処理システムは、  
サーバ装置と、画像読取機構を備える画像処理装置と、を備える画像処理システムであって、

前記サーバ装置は、

前記画像処理装置による原稿の読み取り処理によって画像ファイルを作成するための情報である第1の設定情報と、前記画像処理装置により作成される前記画像ファイルに対する処理及びその処理主体が画像処理装置又はサーバ装置として定義された第2の設定情報であって、前記処理主体が異なる複数の第2の設定情報と、を定義したスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットデータの識別情報とを記憶する記憶手段と、

画像処理装置からのスキャンチケットデータの要求に応じて、前記記憶手段に記憶され

10

20

30

40

50

ているスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットの識別情報を前記画像処理装置に送信するスキャンチケット送信手段と、

前記画像処理装置より、前記画像ファイル及びスキャンチケットデータの識別情報を受信する画像ファイル受信手段と、

前記画像ファイル受信手段で受信した画像ファイルを用いて、前記画像ファイル受信手段で受信した前記スキャンチケットデータの識別情報の示す前記スキャンチケットデータに含まれる第2の設定情報に定義された処理を実行する第1の実行手段と、

を備え、

前記画像処理装置は、

前記サーバ装置に対して、スキャンチケットデータを要求する要求手段と、

前記要求手段によるスキャンチケットデータの要求に応じて前記スキャンチケット送信手段により送信されるスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットの識別情報を受信するスキャンチケット受信手段と、

前記スキャンチケット受信手段で受信したスキャンチケットデータに含まれる第1の設定情報に従って前記画像読取機構を用いて原稿を読み取ることで、画像ファイルを作成する画像ファイル作成手段と、

前記スキャンチケットデータに含まれる前記第2の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成手段で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が、前記画像処理装置か、前記サーバ装置かを判定する判定手段と、

前記判定手段で、前記スキャンチケットデータに含まれる第2の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成手段で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が画像処理装置であると判定した処理を、当該画像処理装置において実行する第2の実行手段と、

前記複数の第2の設定情報のうち、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が、前記第2の実行手段で実行されたか否かを判定する実行判定手段と、

前記実行判定手段で、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が実行されたと判定した場合に、前記判定手段で、前記処理主体が前記サーバ装置であると判定した処理を前記サーバ装置に実行させるべく、前記画像処理装置で実行する全ての処理がされた前記画像ファイル及びスキャンチケットの識別情報を、前記サーバ装置に送信する画像ファイル送信手段と、

を備えることを特徴とする。

【0009】

本発明の画像処理方法は、

サーバ装置と、画像読取機構を備える画像処理装置と、を備える画像処理システムによって行われる画像処理方法であって、

前記サーバ装置の記憶手段が、前記画像処理装置による原稿の読み取り処理によって画像ファイルを作成するための情報である第1の設定情報と、前記画像処理装置により作成される前記画像ファイルに対する処理及びその処理主体が画像処理装置又はサーバ装置として定義された第2の設定情報であって、前記処理主体が異なる複数の第2の設定情報と、を定義したスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットデータの識別情報とを記憶する記憶工程と、

前記サーバ装置のスキャンチケット送信手段が、画像処理装置からのスキャンチケットデータの要求に応じて、前記記憶工程に記憶されているスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットの識別情報を前記画像処理装置に送信するスキャンチケット送信工程と、

前記サーバ装置の画像ファイル受信手段が、前記画像処理装置より、前記画像ファイル及びスキャンチケットデータの識別情報を受信する画像ファイル受信工程と、

前記サーバ装置の第1の実行手段が、前記画像ファイル受信工程で受信した画像ファイルを用いて、前記画像ファイル受信工程で受信した前記スキャンチケットデータの識別情報の示す前記スキャンチケットデータに含まれる第2の設定情報に定義された処理を実行

10

20

30

40

50



する第 1 の実行工程と、

前記画像処理装置の要求手段が、前記サーバ装置に対して、スキャンチケットデータを要求する要求工程と、

前記画像処理装置のスキャンチケット受信手段が、前記要求工程によるスキャンチケットデータの要求に応じて前記スキャンチケット送信工程により送信されるスキャンチケットデータと、当該スキャンチケットの識別情報を受信するスキャンチケット受信工程と、

前記画像処理装置の画像ファイル作成手段が、前記スキャンチケット受信工程で受信したスキャンチケットデータに含まれる第 1 の設定情報に従って前記画像読取機構を用いて原稿を読み取ることで、画像ファイルを作成する画像ファイル作成工程と、

前記画像処理装置の判定手段が、前記スキャンチケットデータに含まれる前記第 2 の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成工程で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が、前記画像処理装置か、前記サーバ装置かを判定する判定工程と、

10

前記画像処理装置の第 2 の実行手段が、前記判定工程で、前記スキャンチケットデータに含まれる第 2 の設定情報に定義された、前記画像ファイル作成工程で作成した前記画像ファイルに対する処理の処理主体が画像処理装置であると判定した処理を、当該画像処理装置において実行する第 2 の実行工程と、

前記画像処理装置の実行判定手段が、前記複数の第 2 の設定情報のうち、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が、前記第 2 の実行工程で実行されたか否かを判定する実行判定工程と、

前記画像処理装置の画像ファイル送信手段が、前記実行判定工程で、前記処理主体が前記画像処理装置である全ての処理が実行されたと判定した場合に、前記判定工程で、前記処理主体が前記サーバ装置であると判定した処理を前記サーバ装置に実行させるべく、前記画像処理装置で実行する全ての処理がされた前記画像ファイル及びスキャンチケットの識別情報を、前記サーバ装置に送信する画像ファイル送信工程と、

20

を含むことを特徴とする。

【発明の効果】

【0010】

本発明によれば、スキャンチケットデータを用いた一度の読み取り指示で、何れの装置で当該スキャンチケットに定義された処理を実行させるかを決定し、各装置に実行させると共に、画像処理装置で行う処理を全て実行した場合に、前記画像処理装置で実行する全ての処理がされたファイルをサーバ装置に送信し、サーバ装置にサーバ装置を処理主体とする他の処理を実行させることが可能となる。

30

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図 1】本発明の画像処理システムのシステム構成の一例を示す図である。

【図 2】図 1 のサーバ装置 101 に適用可能な情報処理装置のハードウェア構成の一例を示す図である。

【図 3】図 1 の複合機 103 のハードウェア構成の一例を示す図である。

【図 4】サーバ装置 101 によって行われる処理の概要を示すフローチャートである。

【図 5】図 4 のステップ S 402 の新規スキャンチケット作成処理の詳細を示すフローチャートである。

40

【図 6】図 4 のステップ S 404 のスキャンチケットを用いた処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 7】図 4 のステップ S 406 のスキャンチケット実行処理の詳細を示すフローチャートである。

【図 8】新規スキャンチケット作成処理で用いられる画面の一例を示す図である。

【図 9】画像処理装置の LCD 表示部に表示される画面の一例を示す図である。

【図 10】サーバ装置 101 の外部メモリに保存されるスキャンチケットデータの構成の一例を示す図である。

【発明を実施するための形態】

50

## 【 0 0 1 2 】

以下、図面を参照して、本発明の実施の形態の一例を説明する。

## 【 0 0 1 3 】

図 1 は本発明の画像処理システムのシステム構成の一例を示す図である。図 1 に示すように、本発明の画像処理システムは、サーバ装置 1 0 1、クライアント装置 1 0 2 - 1、1 0 2 - 2 (以下まとめてクライアント装置 1 0 2 とする)、複合機 1 0 3 - 1、1 0 3 - 2 (以下まとめて複合機 1 0 3 とする)、LAN (Local Area Network) 等のネットワーク 1 0 4 を備えて構成される。

## 【 0 0 1 4 】

サーバ装置 1 0 1 は、クライアント装置 1 0 2 からの要求に応じてスキャンチケットを作成する機能、複合機 1 0 3 からの要求に応じて、スキャンチケットを複合機に送信する機能、複合機 1 0 3 から送信された画像データに対してスキャンチケットに設定された画像処理を実行する機能を有している装置である。スキャンチケットとは、複合機で原稿を読み取る際の解像度、カラー/モノクロ設定や、読取処理を行うことによって作成された画像データを用いて実行する各種の処理等を定義した情報である。スキャンチケットの構成については、図 1 0 を参照して後述することにする。

10

## 【 0 0 1 5 】

クライアント装置 1 0 2 は、スキャンチケットの作成をサーバ装置 1 0 1 に要求するために用いられる装置である。

## 【 0 0 1 6 】

20

複合機 1 0 3 は、スキャンチケットに基づいた原稿の読取処理や、読取処理を行うことにより作成された画像データを用いてスキャンチケットで定義された処理を実行する装置である。複合機 1 0 3 は、プリント機能、コピー機能、FAX 送信機能、スキャナ機能、ファイル送信機能、メール送信機能等を備えている。

## 【 0 0 1 7 】

ネットワーク 1 0 4 は、上記した各装置を相互に通信可能に接続するためのネットワークである。その接続形態は有線/無線を問わない。以上が、本発明の画像処理システムの構成の一例の説明である。

## 【 0 0 1 8 】

次に、図 2 を参照して、図 1 のサーバ装置 1 0 1 に適用可能な情報処理装置のハードウェア構成について説明する。

30

## 【 0 0 1 9 】

図 2 において、2 0 1 は CPU で、システムバス 2 0 4 に接続される各デバイスやコントローラを統括的に制御する。また、ROM 2 0 3 あるいは外部メモリ 2 1 1 には、CPU 2 0 1 の制御プログラムである BIOS (Basic Input / Output System) やオペレーティングシステムプログラム (以下、OS) や、各サーバ或いは各 PC の実行する機能を実現するために必要な後述する各種プログラム等が記憶されている。

## 【 0 0 2 0 】

2 0 2 は RAM で、CPU 2 0 1 の主メモリ、ワークエリア等として機能する。CPU 2 0 1 は、処理の実行に際して必要なプログラム等を ROM 2 0 3 あるいは外部メモリ 2 1 1 から RAM 2 0 2 にロードして、ロードした該当プログラムを実行することで各種動作を実現するものである。

40

## 【 0 0 2 1 】

また、2 0 5 は入力コントローラで、キーボードやポインティングデバイス等の入力装置 2 0 9 からの入力を制御する。2 0 6 はビデオコントローラで、ディスプレイ装置 2 1 0 等の表示器への表示を制御する。これらは必要に応じて操作者が使用するものである。

## 【 0 0 2 2 】

2 0 7 はメモリコントローラで、ブートプログラム、各種のアプリケーション、フォントデータ、ユーザファイル、編集ファイル、各種データ等を記憶するハードディスク (HD) や、フレキシブルディスク (FD)、或いは PCMCIA カードスロットにアダプタ

50

を介して接続されるコンパクトフラッシュ（登録商標）メモリ等の外部メモリ211へのアクセスを制御する。

【0023】

208は通信I/F（インタフェース）コントローラで、ネットワーク（例えば、図1に示したLAN104）を介して外部機器と接続・通信するものであり、ネットワークでの通信制御処理を実行する。例えば、TCP/IPを用いた通信等が可能である。

【0024】

なお、CPU201は、例えばRAM202内の表示情報用領域へアウトラインフォントの展開（ラスターライズ）処理を実行することにより、ディスプレイ装置210上での表示を可能としている。また、CPU201は、ディスプレイ装置210上の不図示のマウスカーソル等でのユーザ指示を可能とする。

10

【0025】

本発明を実現するための後述するフローチャートに示す各ステップの処理は、コンピュータで読み取り実行可能なプログラムにより実行され、そのプログラムは外部メモリ211に記録されている。そして、必要に応じてRAM202にロードされることによりCPU201によって実行されるものである。さらに、上記プログラムの実行時に用いられる定義ファイル及び各種情報テーブル等も、外部メモリ211に格納されており、これらについての詳細な説明も後述する。

【0026】

尚、図1のクライアント装置102もサーバ装置101と同様のハードウェア構成を有しているので、詳細な説明は割愛する。

20

【0027】

次に、図3を参照して、図1の複合機103のハードウェア構成について説明する。図3は、図1の複合機103のハードウェア構成の一例を示すブロック図である。

【0028】

図3において、316はコントローラユニットで、画像入力デバイスとして機能するスキャナ314や、画像出力デバイスとして機能するプリンタ部312と接続する一方、LAN（例えば、図1に示したLAN104）や公衆回線（WAN）（例えば、PSTNまたはISDN等）と接続することで、画像データやデバイス情報の入出力を行う。

【0029】

30

コントローラユニット316において、301はCPUで、システム全体を制御するプロセッサである。302はRAMで、CPU301が動作するためのシステムワークメモリであり、プログラムを記録するためのプログラムメモリや、画像データを一時記録するための画像メモリでもある。

【0030】

303はROMで、システムのブートプログラムや各種制御プログラムが格納されている。304はハードディスクドライブ（HDD）で、システムを制御するための各種プログラム、画像データ等を格納する。

【0031】

307は操作部インタフェース（操作部I/F）で、操作部308とのインタフェース部である。また、操作部I/F307は、操作部308から入力したキー情報（例えば、スタートボタンの押下）をCPU301に伝える役割をする。

40

【0032】

305はネットワークインタフェース（ネットワークI/F）で、LAN104等のネットワークに接続し、データの入出力を行う。306はモデムで、公衆回線に接続し、FAXの送受信等のデータの入出力を行う。

【0033】

318は外部インタフェース（外部I/F）で、USB、IEEE1394、プリンタポート、RS-232C等の外部入力を受け付けるI/F部であり、本実施形態においてはユーザの認証を行う際に必要となる非接触ICカード（記憶媒体）の読み取り用のカー

50

ドリーダ 319 が外部 I/F 部 318 に接続されている。そして、CPU 301 は、この外部 I/F 318 を介してカードリーダ 319 による IC カードからの情報読み取りを制御し、該 IC カードから読み取られた情報を取得可能である。以上のデバイスがシステムバス 309 上に配置される。

【0034】

320 はイメージバスインタフェース（イメージバス I/F）であり、システムバス 309 と画像データを高速で転送する画像バス 315 とを接続し、データ構造を変換するバスブリッジである。画像バス 315 は、PCI バスまたは IEEE 1394 で構成される。画像バス 315 上には以下のデバイスが配置される。

【0035】

310 はラスタイメージプロセッサ（RIP）で、例えば、PDL コード等のベクトルデータをビットマップイメージに展開する。311 はプリンタインタフェース（プリンタ I/F）で、プリンタ部 312 とコントローラユニット 316 を接続し、画像データの同期系/非同期系の変換を行う。また、313 はスキャナインタフェース（スキャナ I/F）で、スキャナ 314 とコントローラユニット 316 を接続し、画像データの同期系/非同期系の変換を行う。

【0036】

317 は画像処理部で、入力画像データに対し補正、加工、編集を行ったり、プリント出力画像データに対して、プリンタの補正、解像度変換等を行ったりする。また、これに加えて、画像処理部 317 は、画像データの回転や、多値画像データに対しては JPEG、2 値画像データは JBIG、MMR、MH 等の圧縮伸張処理を行う。そして、この画像処理部 317 は、スキャナ部 314 を駆動して画像読み取りされた画像データを画像処理して、ファイル出力可能な形式（例えば、PDF 形式ファイル）に変換し、CPU 301 と連携して、ネットワーク I/F 305 を介して、外部装置に画像データのファイルを送信することができる。

【0037】

スキャナ部 314 は、原稿となる紙上の画像を照明し、CCD ラインセンサで走査することで、ラスタイメージデータとして電気信号に変換する。原稿用紙は原稿フィードのトレイにセットし、装置使用者が操作部 308 から読み取り起動指示することにより、CPU 301 がスキャナ 314 に指示を与え、フィードは原稿用紙を 1 枚ずつフィードし原稿画像の読み取り動作を行う。

【0038】

プリンタ部 312 は、ラスタイメージデータを用紙上の画像に変換する部分であり、その方式は感光体ドラムや感光体ベルトを用いた電子写真方式、微少ノズルアレイからインクを吐出して用紙上に直接画像を印字するインクジェット方式等があるが、どの方式でも構わない。プリント動作の起動は、CPU 301 からの指示によって開始する。なお、プリンタ部 312 には、異なる用紙サイズまたは異なる用紙向きを選択できるように複数の給紙段を持ち、それに対応した用紙カセットがある。

【0039】

操作部 308 は、LCD 表示部を有し、LCD 上にタッチパネルシートが貼られており、システムの操作画面を表示するとともに、表示してあるキーが押されるとその位置情報を操作部 I/F 307 を介して CPU 301 に伝える。また、操作部 308 は、各種操作キーとして、例えば、スタートキー、ストップキー、ID キー、リセットキー等を備える。

【0040】

尚、表示部はプリンタによって表示性能が異なり、タッチパネルを介して操作をできるプリンタ、単に液晶画面を備え文字列を表示（印刷状態や印刷している文書名の表示）させるだけのプリンタによって本発明は構成されている。

【0041】

ここで、操作部 308 のスタートキーは、原稿画像の読み取り動作を開始する時などに

10

20

30

40

50

用いる。スタートキーの中央部には、緑と赤の２色ＬＥＤがあり、その色によってスタートキーが使える状態にあるかどうかを示す。また、操作部３０８のストップキーは、稼働中の動作を止める働きをする。また、操作部３０８のＩＤキーは、使用者のユーザＩＤを入力する時に用いる。リセットキーは、操作部からの設定を初期化する時に用いる。

【００４２】

カードリーダ３１９は、ＣＰＵ３０１からの制御により、非接触ＩＣカードに記憶されている情報を読み取り、該読み取った情報を外部Ｉ／Ｆ３１８を介してＣＰＵ３０１へ通知する。

【００４３】

以上のような構成によって、プリンタ３１２は、スキャナ３１４から読み込んだ画像データをＬＡＮ１０４上に送信したり、ＬＡＮ１０４から受信した印刷データをプリンタ部３１２により印刷出力したりすることができる。

【００４４】

また、スキャナ３１４から読み込んだ画像データをモデム３０６により、公衆回線にＦＡＸ送信したり、公衆回線からＦＡＸ受信した画像データをプリンタ部３１２により出力したりすることができる。

【００４５】

次に、図４を参照して、サーバ装置１０１によって実行される処理の概要について説明する。この処理をサーバ装置１０１のＣＰＵ２０１に行わせるためのプログラムは外部メモリ２１１に記憶されており、必要に応じてＣＰＵ２０１は当該プログラムをＲＡＭ２０２にダウンロードし、その制御に従って本処理を行うことになる。

【００４６】

サーバ装置１０１のＣＰＵ２０１は、本図に示す処理において、クライアント装置１０２からの新規スキャンチケットの作成要求を受け付けたか（ステップＳ４０１）、複合機１０３からのスキャンチケット要求を受け付けたか（ステップＳ４０３）、スキャンチケットに定義された処理を実行するか（ステップＳ４０５）を判定することになる。

【００４７】

まず、クライアント装置１０２から新規スキャンチケットの作成要求を受け付けた（ステップＳ４０１でＹＥＳ）と判定した場合には、処理をステップＳ４０２に進め、新規スキャンチケット作成処理を行う。この処理の詳細については、図５を参照して後述することにする。

【００４８】

複合機１０３からのスキャンチケット要求を受け付けた（ステップＳ４０３でＹＥＳ）と判定した場合には、処理をステップＳ４０４に進め、スキャンチケットを用いた処理を行う。この処理の詳細については、図６を参照して後述することにする。

【００４９】

また、複合機１０３からスキャンチケットに対応付けられた画像データを受信した場合等に行うこととなる、スキャンチケットに定義された処理を実行する（ステップＳ４０５でＹＥＳ）と判定した場合には、処理をステップＳ４０６に進め、スキャンチケット実行処理を行う。この処理の詳細については、図７を参照して後述することにする。

【００５０】

そして上記の処理を例えば本プログラムが終了するまで（ステップＳ４０７でＹＥＳと判定）行うことになる。以上が、サーバ装置１０１によって行われる処理の概要である。

【００５１】

次に、図５を参照して図４のステップＳ４０２の新規スキャンチケット作成処理の詳細について説明する。この処理は、クライアント装置１０２のＣＰＵ２０１及びサーバ装置１０１のＣＰＵ２０１によって行われる処理である。

【００５２】

クライアント装置１０２のＣＰＵ２０１に図５のステップＳ５０１～Ｓ５０７の処理を実行させるためのプログラムは、クライアント装置１０２の外部メモリ２１１等に記憶さ

10

20

30

40

50

れており、本処理実行に際し、クライアント装置 102 の CPU 201 は、当該プログラムを RAM 202 にロードし、ロードしたプログラムによる制御に従ってこれら処理を行う。

【0053】

また、サーバ装置 101 の CPU 201 に図 5 のステップ S511～S515 の処理を実行させるためのプログラムは、サーバ装置 101 の外部メモリ 211 等に記憶されており、本処理実行の際に、サーバ装置 101 の CPU 201 は、当該プログラムを RAM 202 にロードし、ロードしたプログラムによる制御に従ってこれら処理を行う。

【0054】

まず、クライアント装置 102 の CPU 201 は、サーバ装置 101 に対して新規スキャンチケットの作成要求を送信する（ステップ S501）。そして、サーバ装置 101 はクライアント装置 102 からの新規スキャンチケットの作成要求を受信すると（ステップ S511）、新規スキャンチケット作成画面の画面情報を送信する（ステップ S512）。

10

【0055】

サーバ装置 101 から送信された画面情報を受信すると（ステップ S502）、受信した画面情報に基づいてディスプレイ装置 210 に新規スキャンチケット作成画面を表示する。ここでディスプレイ装置 210 に表示される新規スキャンチケット作成画面は図 8 に示すような画面である。

【0056】

20

ここで、図 8 を参照して、クライアント装置 102 のディスプレイ装置 210 に表示される新規スキャンチケット作成画面 800 の構成について説明する。

【0057】

新規スキャンチケット作成画面 800 は、スキャンチケット名入力部 801、使用可能ユーザ指定部 802、実行する処理指定部 803、処理詳細設定入力部 804、処理主体選択部 805、追加ボタン 806、定義済み処理表示部 807、作成ボタン 808、キャンセルボタン 809 等を備えて構成されている。

【0058】

スキャンチケット名入力部 801 は、これから作成するスキャンチケットの名称の入力を受け付ける入力部である。使用可能ユーザ指定部 802 は、この新規スキャンチケット作成画面 800 に入力された項目により作成されるスキャンチケットを使用可能なユーザを指定する指定部である。例えば、全ユーザ、作成者のみ、作成者と同じ課のユーザ、任意のユーザ、任意のグループ等を指定することが可能である。

30

【0059】

実行する処理指定部 803 は、当該スキャンチケットが指定された場合に実行する処理を指定する指定部である。例えば、ファイル送信処理、コピー処理、メール送信処理、といった複合機 103 が有する機能によって実行可能な処理のほか、サーバ装置 101 の外部メモリ 211 に保存されているアプリケーションプログラムによって実行可能な、OCR 処理や翻訳処理等を指定することが可能である。

40

【0060】

処理詳細設定入力部 804 は、実行する処理指定部 803 で指定された処理を実行するために必要な詳細情報を入力する入力部である。図 8 では、指定された処理がメール送信の場合に処理詳細設定入力部 804 の表示例を示している。

【0061】

指定された処理がメール送信である場合には、処理詳細設定入力部 804 には、メールの件名情報の入力を行うための件名入力欄 804-1、送信者（FROM）情報の入力を行うための FROM 入力欄 804-2、宛先（TO）情報の入力を行うための TO 入力欄 804-3、CC 情報の入力を行うための CC 入力欄 804-4、BCC 情報の入力を行うための BCC 入力欄 804-5、本文の入力を行うための本文入力欄 804-6、添付

50

ファイルの作成方法を指定するための添付ファイル作成方法入力欄 804 - 7 等がこの処理詳細設定入力部 804 に設定されることになる。尚、添付ファイル作成方法入力欄 804 - 7 には、ファイル形式指定欄 804 - 71、解像度指定欄 804 - 72、カラー/モノクロ指定欄 804 - 63 が設定される。これらで指定された情報は、複合機 103 でのスキャン時の設定に反映されることになる。

【0062】

処理主体選択部 805 は、実行する処理指定部 803 で指定された処理をサーバ装置 101 で行うか、それとも複合機 103 で行うかの選択を受け付ける選択部である。尚、実行する処理指定部 803 で指定された処理が、複合機 103 で実行不可能な処理である場合には、複合機 103 を選択できないよう表示制御がなされる。

10

【0063】

追加ボタン 806 は、実行する処理指定部 803、処理詳細設定入力部 804 及び処理主体選択部 805 に対する処理によって特定される処理を当該スキャンチケットが選択された場合に行う処理として追加するために用いるボタンである。

【0064】

定義済み処理表示部 807 は、既に作成中のスキャンチケットに定義済みの処理を表示するための表示部であり、詳細確認ボタン 807 - 1、削除ボタン 807 - 2 を備えている。詳細確認ボタン 807 - 1 は定義済みの処理の詳細を表示するために用いられるボタンであって、詳細確認ボタン 807 - 1 に対する押下指示を受け付けると、不図示の詳細確認画面を表示することで、ユーザが設定情報の確認可能にする。削除ボタン 807 - 2 に対する押下指示を受け付けると、その行に表示されている定義済みの処理を削除する。

20

【0065】

作成ボタン 808 は、この新規スキャンチケット作成画面 800 を介して入力された各種の情報に従ったスキャンチケットの作成をサーバ装置 101 に要求するために用いられるボタンである。キャンセルボタン 809 はスキャンチケットの作成要求を行うことなく本画面を用いた処理を終了するために用いるボタンである。以上が、図 8 の新規スキャンチケット作成画面の説明である。

【0066】

図 5 の説明に戻る。ステップ S503 で新規スキャンチケット作成画面 800 を表示後、新規スキャンチケット作成画面 800 を介してスキャンチケット作成情報の入力を受け付ける（ステップ S504）。その後、新規スキャンチケット作成画面 800 の作成ボタン 808 に対する押下指示がなされることにより入力される作成指示を受け付けたと判断した場合には（ステップ S505 で YES）、処理をステップ S506 に進め新規スキャンチケット作成画面 800 を介して入力されたスキャンチケット作成情報を、サーバ装置 101 に対して送信する。

30

【0067】

サーバ装置 101 の CPU 201 は、クライアント装置 102 から送信されたスキャンチケット作成情報を受信すると（ステップ S513）、スキャンチケット作成情報に従ってスキャンチケットの作成を行う（ステップ S514）。作成されるスキャンチケットは、図 10 に示すような構成を有している。

40

【0068】

図 10 は、図 5 のステップ S514 でサーバ装置 101 の CPU 201 によって作成されるスキャンチケットのデータ構成を示している。

【0069】

図 10 に示すように、スキャンチケットは、スキャンチケットデータ 1000 と処理詳細データ 1010 ~ 1030 で構成されている。尚、処理詳細データ 1010 ~ 1030 は、実行する処理毎に作成されることになり、1010 はメール送信処理詳細データ、1020 はファイル送信処理詳細データ、1030 は FAX 送信処理詳細データを示している。

【0070】

50

スキャンチケットデータ１０００には、スキャンチケットＩＤ１００１、スキャンチケット名１００２、使用可能ユーザ１００３、処理数１００４、処理詳細１００５、解像度１００６、モノクロ／カラー１００７がデータ項目として設定されている。

【００７１】

スキャンチケットＩＤ１００１はスキャンチケットデータを一意に識別するための識別情報を登録するデータ項目である。

【００７２】

スキャンチケット名１００２は、図８のスキャンチケット名入力部８０１に入力されたスキャンチケット名を登録するデータ項目である。使用可能ユーザ１００３は、図８の使用可能ユーザ指定部８０２で指定された当該スキャンチケットの使用可能ユーザの情報を登録するデータ項目である。処理数は、当該スキャンチケットを指定した処理で実行される処理数が登録されるデータ項目であり、定義済み処理表示部８０７に表示されている処理の数が登録されることになる。

10

【００７３】

処理詳細１００５は、当該スキャンチケットを用いて行われる処理の詳細データに関する情報が登録されるデータ項目であり、処理種別１００５－１、処理ＩＤ１００５－２、処理主体１００５－３が詳細データとして登録される。

【００７４】

処理種別１００５－１は、処理種別を示すデータが登録されるデータ項目であり、例えば、メール送信、ＦＡＸ送信、ファイル送信等、図８の実行する処理指定部８０３で指定された処理が登録される。処理ＩＤは、詳細処理データを特定するための識別情報が登録される項目であり、この処理の詳細データを登録している詳細データの識別情報が登録される。処理主体１００５－３は、この処理をサーバ装置１０１、複合機１０３のどちらが行うかを示す情報が登録されるデータ項目であり、図８の処理主体選択部８０５で選択された情報が登録される。

20

【００７５】

解像度１００６は、複合機１０３で原稿の読取処理（スキャン処理）を実行する際に設定される解像度情報が登録されるデータ項目である。モノクロ／カラーは複合機１０３で原稿の読み取り処理を行う際に設定されるモノクロ／カラー指定が登録される。これらの情報は、例えば、メール送信処理の際に設定される添付ファイルの解像度、モノクロ／カラー設定等に基づいて決定され登録されることになる。

30

【００７６】

処理詳細データ１０１０～１０３０は、複合機１０３またはサーバ装置１０１が行うことになる各種の処理の詳細情報を登録するデータ項目であり、メール送信処理詳細データ１０１０であれば、処理ＩＤ１０１１、ＦＲＯＭ１０１２、ＴＯ１０１３、ＣＣ１０１４、ＢＳＳ１０１５、件名１０１６、本文１０１７、添付ファイル１０１８等のデータ項目が設定されており、添付ファイル１０１８には更にファイル形式１０１８－１、解像度１０１８－２、モノクロ／カラー１０１８－３が設定される。

【００７７】

ファイル送信処理詳細データ１０２０には、処理ＩＤ１０２１、ファイル送信先フォルダ１０２２、ＩＤ１０２３、パスワード１０２４、送信ファイル１０２５等のデータ項目が設定されており、送信ファイル１０２５には更にファイル形式１０２５－１、解像度１０２５－２、モノクロ／カラー１０２５－３が設定される。尚、ＩＤ１０２３、パスワード１０２４には、ファイル送信先フォルダ１０２２に登録されたフォルダにアクセスする際に用いるユーザＩＤ情報、パスワード情報をそれぞれ登録することになる。

40

【００７８】

ＦＡＸ送信処理詳細データ１０３０には、処理ＩＤ１０３１、ＦＡＸ送信先１０３２等のデータ項目が設定されている。以上がスキャンチケットのデータ構成の説明である。

【００７９】

図５の説明に戻る。ステップＳ５１４でのスキャンチケットデータの作成処理終了後、

50



サーバ装置 101 の CPU 201 は、その処理結果情報をスキャンチケットの作成要求を行ったクライアント装置 102 に対して送信する（ステップ S 515）、そして、クライアント装置 102 はその処理結果情報を受信し（ステップ S 507）、その情報にもとづき、処理結果をディスプレイ装置 210 に表示する。以上が図 4 のステップ S 402 の新規スキャンチケット作成処理の詳細の説明である。

【0080】

次に、図 6 を参照して、図 4 のステップ S 404 のスキャンチケットを用いた処理の詳細について説明する。この処理は複合機 103 の CPU 201 及びサーバ装置 101 の CPU 201 によって行われる処理である。

【0081】

複合機 103 の CPU 301 にステップ S 601 ～ステップ S 614 に示す処理を実行させるためのプログラムは HDD 304 等に記憶されており、CPU 301 は本処理を実行するに際して、当該プログラムを RAM 302 にロードし、ロードしたプログラムの制御に従って本処理を実行することになる。

【0082】

また、サーバ装置 101 の CPU 201 にステップ S 621 ～ステップ S 624 に示す処理を実行させるためのプログラムは外部メモリ 211 等に記憶されており、本処理を実行するに際して、当該プログラムを RAM 202 にロードし、ロードしたプログラムの制御に従って本処理を実行することになる。

【0083】

複合機 103 の CPU 301 は、複合機を使用するユーザの認証処理を行う（ステップ S 601）。このユーザ認証処理では、ユーザ ID 及びパスワードや、生体情報、IC カード情報などをユーザ認証情報として入力させ、当該ユーザ認証情報に関連づいているユーザを、複合機 103 を使用するユーザとして特定する処理を行う。

【0084】

ユーザ認証処理終了後、ユーザから受付けた処理内容がスキャンチケットを用いた処理要求をユーザの操作指示に従って受け付けたかを判定する（ステップ S 602）。この判定処理でスキャンチケットを用いたスキャン処理以外の処理要求を受け付けた（ステップ S 602 で NO）と判定した場合には、処理をステップ S 603 に進め、ユーザから要求があった処理（例えばコピー処理、FAX 送信、プリント処理）を実行することになる。

【0085】

一方、ステップ S 602 の判定処理でスキャンチケットを用いた処理の要求を受け付けた（ステップ S 602 で YES）と複合機 103 の CPU 301 が判定した場合には、処理をステップ S 604 に進め、ステップ S 601 で特定されたユーザが使用可能なスキャンチケットをサーバ装置 101 に対して要求する。

【0086】

複合機 103 からのスキャンチケット要求を受信すると（ステップ S 621）、外部メモリ 211 に記憶されているスキャンチケットの中から複合機 103 を使用中のユーザが使用できるスキャンチケットをスキャンチケットデータの使用可能ユーザ 1003 に登録されている情報に従って取得し（ステップ S 622）、取得したスキャンチケットを複合機 103 に対して送信する（ステップ S 623）。この時、スキャンチケットデータ及び処理主体が複合機 103 となっている処理の詳細データを少なくとも複合機 103 に送信することになる。

【0087】

サーバ装置 101 から送信されたユーザが使用可能なスキャンチケットを受信した（ステップ S 605）後、図 9 に示すスキャンチケット選択画面を操作部 308 の LCD 表示部に表示する（ステップ S 606）。

【0088】

ここで、図 9 を参照して、図 6 のステップ S 606 で複合機 103 の操作部 308 の LCD 表示部に表示されるスキャンチケット選択画面 900 の一例について説明する。

10

20

30

40

50

## 【 0 0 8 9 】

図 9 に示すようにスキャンチケット選択画面 9 0 0 には、ユーザ情報表示部 9 0 1、操作メニュー表示部 9 0 2、スキャンチケット一覧表示部 9 0 3、詳細ボタン 9 0 4、実行ボタン 9 0 5 等を備えて構成されている。

## 【 0 0 9 0 】

ユーザ情報表示部 9 0 1 は、複合機 1 0 3 を使用中のユーザのユーザ情報を表示する表示欄である。操作メニュー表示部 9 0 2 は、複合機 1 0 3 に対して各種処理の実行要求を入力させるために用いられるボタンを表示する表示部であり、例えばスキャンチケットボタン 9 0 2 - 1 に対する押下指示を行うことで、複合機 1 0 3 の C P U 3 0 1 に対してスキャンチケットを用いた処理の実行要求を入力することができる。

10

## 【 0 0 9 1 】

スキャンチケット一覧表示部 9 0 3 はサーバ装置 1 0 1 から取得したスキャンチケットの一覧を表示する表示部であって、スキャンチケット名、処理数、解像度、カラー / モノクロ設定情報等の表示を行う。また、このスキャンチケット一覧表示部 9 0 3 に表示されているスキャンチケットに対する選択処理を受け付けることにより、実際に処理に使用するスキャンチケットを選択する。選択されたスキャンチケットは、例えば 9 0 3 - 1 に示すように背景色を変える等、他のスキャンチケットの表示と異ならせることで、いずれのスキャンチケットが選択状態であるかをユーザが認識できるようにする。

## 【 0 0 9 2 】

詳細ボタン 9 0 4 は、スキャンチケット一覧表示部 9 0 3 で選択状態になっているスキャンチケットの詳細を表示するために用いられるボタンである。実行ボタン 9 0 5 は、スキャンチケット一覧表示部 9 0 3 で選択状態になっているスキャンチケットに定義された処理を実行する指示を複合機 1 0 3 に入力するために用いられるボタンである。以上がスキャンチケット選択画面の構成の一例の説明である。

20

## 【 0 0 9 3 】

図 6 の説明に戻る。そして、ステップ S 6 0 6 でスキャンチケット選択画面 9 0 0 を表示した後、スキャンチケット一覧表示部 9 0 3 に対する操作によるスキャンチケットの選択を受け付ける (ステップ S 6 0 7 )。

## 【 0 0 9 4 】

その後、実行ボタン 9 0 5 が押下指示を受け付けることで入力される処理実行指示を受け付けると (ステップ S 6 0 8 で Y E S ) 判定した場合には、処理をステップ S 6 0 9 に進め、ステップ S 6 0 7 で選択されたスキャンチケットに設定された解像度設定やカラーモノクロ設定等に従ってスキャン処理を実行する (ステップ S 6 0 9 )。この処理ではスキャンチケットの設定に従ってスキャン処理を実行することになるので、ユーザが逐スキャンに係る設定の入力を行う必要がない。

30

## 【 0 0 9 5 】

その後、ステップ S 6 0 9 でのスキャン処理により作成された画像データを用いて、スキャンチケットに設定された各種の処理 (メール送信、ファイル送信等)を行うことになる。

## 【 0 0 9 6 】

複合機 1 0 3 は、スキャンチケットに定義されている全ての処理詳細について、当該処理を複合機 1 0 3 で行うか否かを処理主体 1 0 0 5 - 3 に従って判定し (ステップ S 6 1 0)、複合機 1 0 3 で行う処理である (ステップ S 6 1 0 で Y E S ) と判定した場合には、その処理の詳細設定データに定義された処理を実行する (ステップ S 6 1 1 )。

40

## 【 0 0 9 7 】

選択したスキャンチケットに定義された処理のうち、複合機 1 0 3 が処理を行う処理をすべて実行後、当該スキャンチケットにサーバ装置 1 0 1 で行う処理が定義されているかを判定する (ステップ S 6 1 2 )。この判定処理でサーバ装置 1 0 1 で行う処理が定義されている ( Y E S ) と判定した場合には、処理をステップ S 6 1 3 に進め、スキャン処理によって作成された画像データと、スキャンチケットデータ (少なくともスキャンチケッ

50

トID)をサーバ装置101の所定のフォルダに送信する。

【0098】

その後、ユーザのログアウト処理が行われるなど、本処理を終了する(ステップS614でYES)と判定するまで、本図に示す処理を繰り返す。以上が図4のステップS404のスキANCHケットを用いた処理の詳細な説明である。

【0099】

次に、図7を参照して、図4のステップS406のサーバ装置101によるスキANCHケット実行処理の詳細について説明する。サーバ装置101に本図に示す処理を実行させるためのプログラムは外部メモリ211に記憶されており、本処理を実行する際に当該プログラムをRAM202にロードし、ロードしたプログラムによる制御に従って本処理を実行することになる。例えばこの処理は、図6のステップS624で複合機103から受付けた場合、又は所定の時間周期等で行うことになる。

10

【0100】

まず、サーバ装置101のCPU201は、画像処理装置から所定のフォルダに画像データを受け付けているかを判定する(ステップS701)。そして、ステップS701でYESと判定した場合には、当該画像データにスキANCHケットが関連付けられているかを判定する(ステップS702)。

【0101】

ステップS702でYESと判定した場合には、画像データに関連付けられているスキANCHケットに定義されている処理のうち、処理主体がサーバ装置101となっている処理をすべて実行することになる。

20

【0102】

まずスキANCHケットに定義されている処理詳細データを取得し、その処理主体がサーバ装置101となっているかを判定する(ステップS703)。この判定処理でYESと判定した場合には、処理をステップS704に進め、当該詳細処理データの処理種別、処理IDで特定される処理詳細データを取得し、この処理詳細データに定義されている処理を実行する(ステップS705)。

【0103】

以上、ステップS703～ステップS705の処理を画像データに関連付けられているスキANCHケットに含まれるすべての処理詳細データ対して実行した場合、本処理を終了する。

30

【0104】

本発明では、上記のような構成をとることで、画像処理装置でのスキャン処理を伴う一連の複数の処理を、予め定義しておき、定義された処理を画像処理装置に実行させることで、同一の原稿を複数回スキャン処理させることなく、複数の処理を実行することが可能となる。

【0105】

また、一連の複数の処理を画像処理装置に実行させるか、それともサーバ装置に実行させるかを指定することが可能であるため、処理の負荷分散をさせることが可能になるとともに、画像処理装置が実行できない処理をサーバ装置101に行わせることが可能となる。その際のユーザの処理もスキANCHケットを選択し、処理を実行させるというとても簡単なものである。

40

【0106】

前述した実施形態の機能を実現するプログラムを記録した記録媒体を、システムあるいは装置に供給し、そのシステムあるいは装置のコンピュータ(またはCPUやMPU)が記録媒体に格納されたプログラムを読み出し実行することによっても、本発明の目的が達成されることは言うまでもない。

【0107】

この場合、記録媒体から読み出されたプログラム自体が本発明の新規な機能を実現することになり、そのプログラムを記憶した記録媒体は本発明を構成することになる。

50

## 【 0 1 0 8 】

プログラムを供給するための記録媒体としては、例えば、フレキシブルディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、DVD-ROM、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ROM、EEPROM、シリコンディスク等を用いることができる。

## 【 0 1 0 9 】

また、システムあるいは装置のコンピュータが、読み出したプログラムを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているOS（オペレーティングシステム）等が実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

10

## 【 0 1 1 0 】

さらに、記録媒体から読み出されたプログラムが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPU等が実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

## 【 0 1 1 1 】

また、本発明は、複数の機器から構成されるシステムに適用しても、1つの機器からなる装置に適用してもよい。また、本発明は、システムあるいは装置にプログラムを供給することによって達成される場合にも適用できることは言うまでもない。この場合、本発明を達成するためのプログラムを格納した記録媒体を該システムあるいは装置に読み出すことによって、そのシステムあるいは装置が、本発明の効果を享受することが可能となる。

20

## 【 0 1 1 2 】

さらに、本発明を達成するためのプログラムをネットワーク上のサーバ、データベース等から通信プログラムによりダウンロードして読み出すことによって、そのシステムあるいは装置が、本発明の効果を享受することが可能となる。なお、上述した各実施形態およびその変形例を組み合わせた構成も全て本発明に含まれるものである。

## 【 0 1 1 3 】

また上記のソフトウェアで実現する各処理を、ファームウェアやハードウェア構成にして、各処理を各手段として実現することも可能であり、本発明の技術的範囲はこのようなファームウェアやハードウェア構成による実現も含むものである。

30

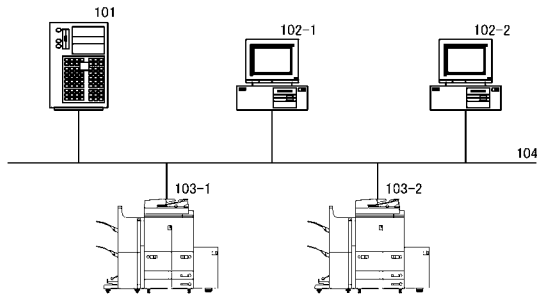
## 【 符号の説明 】

## 【 0 1 1 4 】

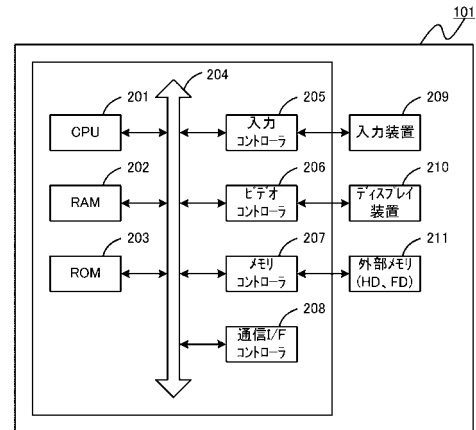
- 1 0 1   サーバ装置
- 1 0 2 - 1、1 0 2 - 2   クライアント装置
- 1 0 3 - 1、1 0 3 - 2   複合機
- 1 0 4   ネットワーク
- 2 0 1   CPU
- 2 0 2   RAM
- 2 0 3   ROM
- 2 0 4   システムバス
- 2 0 5   入力コントローラ
- 2 0 6   ビデオコントローラ
- 2 0 7   メモリコントローラ
- 2 0 8   通信I/F（インタフェース）コントローラ
- 2 0 9   入力装置
- 2 1 0   ディスプレイ装置
- 2 1 1   外部メモリ

40

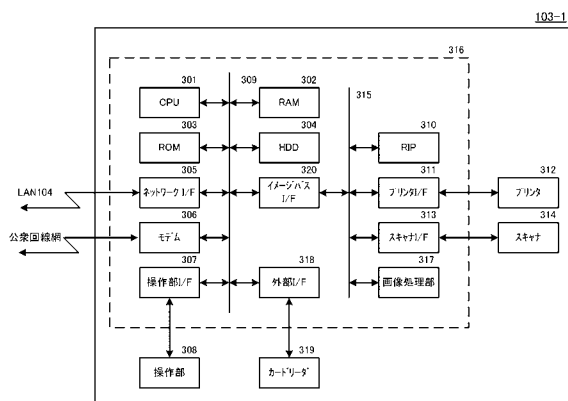
【図 1】



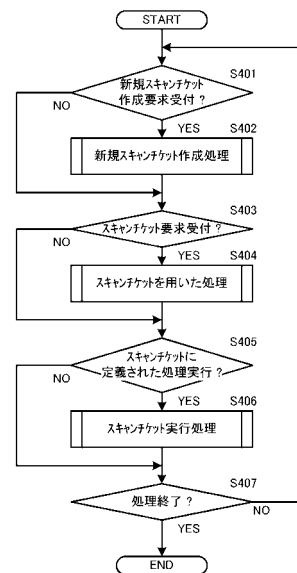
【図 2】



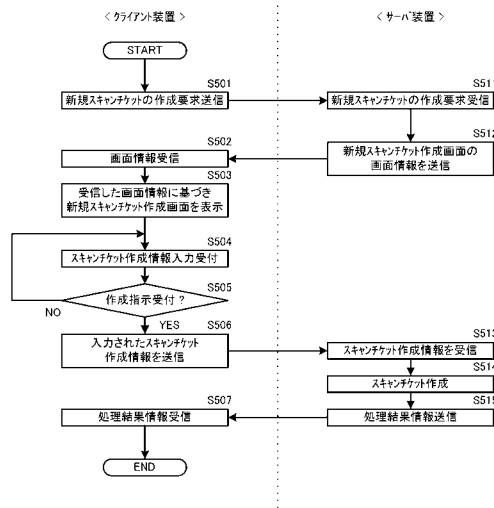
【図 3】



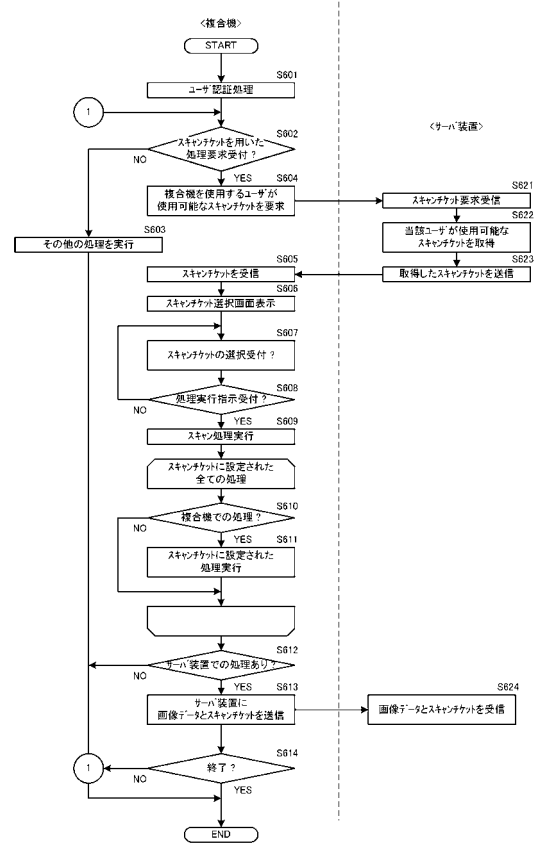
【図 4】



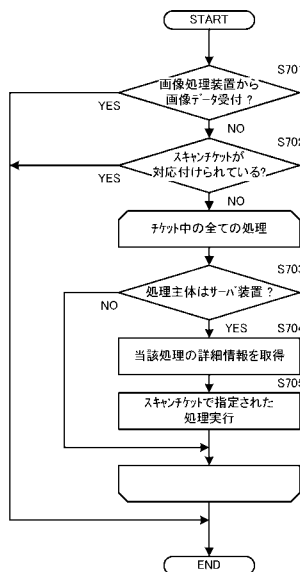
【図 5】



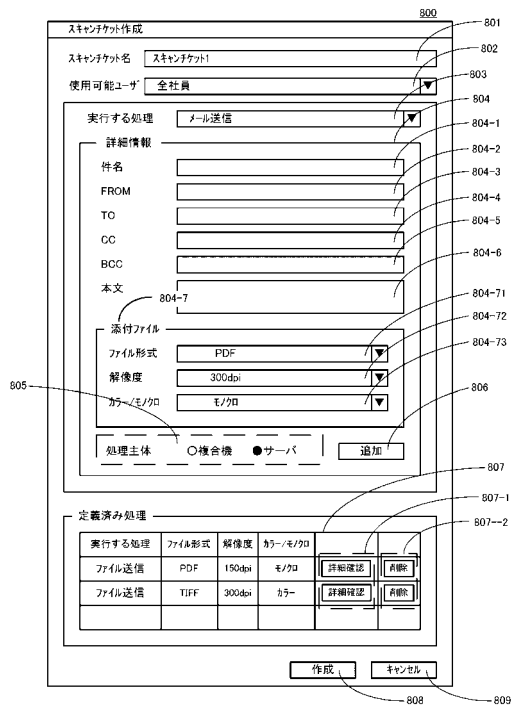
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【図 9】

ログインユーザ  
USER001

901

902-1

902

⇒

プリント

スキャンチケット

ボックス

スキャン

FAX

コピー

903

903-1

カラー/モノクロ

カラー

モノクロ

モノクロ

解像度

300dpi

150dpi

300dpi

処理数

3

5

2

スキャンチケット名

スキャンチケット1

スキャンチケット2

スキャンチケット3

実行

詳細

904

905

スキャンチケット一覧

【図 10】

1000

1001

1002

1003

1004

1005-1

1005-2

1005-3

1006

1007

1005

1001

1002

1003

1004

1005

1006

1007

1010

1011

1012

1013

1014

1015

1016

1017

1018-1

1018-2

1018-3

1020

1021

1022

1023

1024

1025-1

1025-2

1025-3

1025

1030

1031

1032

スキャンチケットID

スキャンチケット名

使用可能ユーザ

処理数

処理権別

処理ID

処理主体

...

解像度

モノクロ/カラー

処理ID

ファイル送信先ファイル名

ID

パスワード

ファイル形式

解像度

モノクロ/カラー

処理ID

FROM

TO

CC

BCC

件名

本文

添付ファイル

ファイル形式

解像度

モノクロ/カラー

処理ID

FAX送信先

---

フロントページの続き

(72)発明者 長島 彩

東京都港区三田3丁目9番6号 キヤノンソフトウェア株式会社内

審査官 橋爪 正樹

(56)参考文献 特開2005-231158(JP,A)

特開2009-048533(JP,A)

特開2009-296163(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

H04N 1/00

B41J 29/38

G06F 3/12